



あ 明るい子ども  
こ 元気強い子ども  
が 考える子ども  
し 親切な子ども  
ま まじめな子ども  
発行責任者: 早川一人

## 7月5日 校地内交通安全の日

2012年7月5日に郡山市内小学校の校地内で交通死亡事故が起きました。この死亡事故は登校して正門近くにいた児童が、忘れ物を届けに来た保護者の車にひかれて亡くなったという事故です。被害者が児童、加害者が同じ学校の保護者という悲惨な事故でした。それ以来、郡山市では7月5日を「校地内交通安全の日」として、この悲惨な事故を繰り返さないように語り継いできました。

本校においても「歩車分離」といって、歩行者(子ども)と車が一緒にならないように動線を分けています。(北側駐車場を通らずに旧幼稚園通路を通る。西側体育館わきの駐車場はロープを張り歩行者通路を確保している)

子どもたちの送迎につきましては、朝の学校西側の道路の進入禁止、送迎は正門付近で降ろすなど、ご協力をいただき安全が確保されていることに感謝申し上げます。

学校で一番大切にしなければならないものは何か?それは、子どもの命。子どもの命を守り、安全、安心な学校にしなければならないという思いを強くしました。

## すくすく水田観察会

6月26日(水)すくすく水田観察会を行いました。5月に田植えをしましたが、その後稲はどれくらい伸びたか、田んぼにはどんな生き物がいるかについて調べました。網で泥をすくうとタニシやオタマジャクシ、ヤゴなどが見つかりました。約1ヶ月経ちましたが、稲の成長を実感した子どもたちでした。途中の観察の時間をとっていることで、子どもたちの学習が深まります。小さなことかもしれませんが、こんな体験が「安子島のよさ」を実感することにつながっていくと思っています。



## 働き方改革について

6月25日付で「教職員の働き方改革について」というお便りを配布いたしました。教職員の働き方改革は、教員が最も大切にしなければいけないのが授業であり、勤務時間の多くを授業のために充てるようにしなければならいとされています。また、教員は常に明るく元気に子どもたちと向き合う必要があるともされています。

先生方は朝出勤すると、2校時目の業間の休み時間や昼休みの休憩時間も、ノートの点検、連絡カードなどの確認、宿題のチェックなどをしています。働き方改革は、教職員が子どもたちに寄り添う時間(じっくり話す、個別に学習指導をするなど)を確保するための改革です。できることから改革を進めてまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 安子島小のよいところ④

給食の残りがほとんどありません。(給食日誌を見ると、牛乳1,2本、おかず類が数百g程度です)残さず食べているんだと感心しています。これは、「好き嫌いをしないで食べるんだよ、何でも食べると元気になるよ」などご家庭で話をしてくださっていることが大きいと思います。子どもたちが元気に生活できているのは、ご家庭での食育がしっかりしているからだと思っています。ありがとうございます。余談ですが、「脳も体の一部。頭がよくするには、体が丈夫で元気でないといけない」と若いときに先輩の先生から教わりました。学校の給食では「必ず食べなさい。食べないうちは遊ばせません」といった指導はしておりません。